

さらなる行財政改革を

15年度の歳出決算 総額231億円を認定

9月定例会は、9月3日から15日まで13日間の会期で開かれました。平成15年度各会計決算7件の認定が求められ、議会に決算審査特別委員会を設置して慎重に審査し、すべて原案のとおり認定。この他に2件の人事案件、乳幼児・心身障害者医療費助成に関する条例、平成16年度各種会計補正予算など13議案を審議し、いずれも同意・可決しました。

町民1人当たりの決算額を比べてみると

歳入総額 (入ったお金)

14年度 296,309円 ⇒ 15年度 312,682円



町税

111,974円 ⇒ 105,240円



町債

32,499円 ⇒ 48,039円

歳出総額 (使ったお金)

14年度 292,403円 ⇒ 15年度 309,181円



土木費

60,195円 ⇒ 66,037円



総務費

56,757円 ⇒ 53,129円



民生費

42,239円 ⇒ 48,986円



衛生費

25,603円 ⇒ 34,755円



教育費

34,384円 ⇒ 30,326円



農林水産業費

10,857円 ⇒ 10,805円



消防費

9,042円 ⇒ 9,015円



商工費

6,719円 ⇒ 6,667円



議会費

5,032円 ⇒ 4,627円



災害復旧費

1,423円 ⇒ 2,493円



労働費

921円 ⇒ 620円



公債費 (借金の返済)

39,231円 ⇒ 41,721円

町の借金は町民1人当たり約80万円

一般会計の歳入は、町税が△5.9%、地方交付税△7.9%で大幅ダウン。歳出は、土木費9.9%、民生費16.1%、衛生費35.9%増、それに加え借金返済が16億円を超える等、かなりきびしい内容となりました。

町の借金の年度末残高は311億円（一般会計+特別会計）。町民1人当たり約80万円、4人家族だと約320万円にもなります。